

令和5年度 第2回 高知大学医学部附属病院外部監査委員会議事要旨

日時 令和6年3月26日(火) 15:00~16:30
場所 特別会議室 (医学部管理棟3階)
出席者 吉川委員長、中西委員、西村委員、西山委員
陪席者 花崎病院長、上羽医療安全管理部長、藤本医療安全管理部副部長、
久米医療安全管理部副部長 (GRM)、武内 GRM、松本 GRM、藤田 GRM、
浜田医薬品安全管理責任者、井上医療機器安全管理責任者、
森田副薬剤部長、片山医学部・病院事務部長、正木総務企画課長、小林医事課長、
西田特任専門員、溝口医療安全係長、真鍋総務企画課課長補佐

1. 開会

2. 病院長あいさつ

3. 議事

(1) 令和5年度医療法第25条に基づく立入検査の結果について

上羽医療安全管理部長から、資料に基づき、令和5年度医療法第25条に基づく立入検査の結果について報告が行われ、質疑応答の後、立入検査の指摘事項への対応について、良好に行われていると評価することが確認された。

なお、立入検査で指摘されている事項については、今後適切に改善が図られるよう依頼が行われた。

(2) 令和5年度医療安全・質向上のための相互チェック及び特定機能病院間相互のピアレビューの結果について

上羽医療安全管理部長から、資料に基づき、令和5年度医療安全・質向上のための相互チェック及び特定機能病院間相互のピアレビューの実施状況や指摘事項への対応について報告があり、質疑応答の後、良好に行われていると評価することが確認された。

(3) 医薬品安全管理状況に関する現場確認

浜田医薬品安全管理責任者から、資料に基づき、医薬品安全管理状況に関する以下の事項について説明が行われた。

- ・ 医薬品安全管理について
- ・ 医薬品安全使用のための研修
- ・ 未承認医薬品の使用、適応外あるいは禁忌等の使用に関する情報収集方法、未承認・適応外・禁忌等に該当する処方薬の把握のための体系的な仕組みについて

その後、薬剤部で現場確認が行われ、質疑応答の後、良好に管理されていると評価することが確認された。

なお、委員から、以下の意見が出された。

○医療安全・タスクシフトを見据えた機械化の促進

- ・ 薬剤師が不足している中、タスクシフトを念頭に、機械化を進めながら医療安全に貢献できていることは評価できる。

また、処方せんや注射せんに検査値や注意事項を掲載することで、薬剤師が視覚的にも確認でき、疑義照会から適正処方に繋がっている一連の業務の流れはシステムティックに取り組まれていて評価できる。

○学部アルバイトの雇用

- ・ 学生(医学生・看護学生)をパートタイムで雇用するといった卒前卒後も見据えた教育とともに、勤務地の条件や勤務形態を提案し、非薬剤師の雇用も困難である状況を改善した事案は他の施設も参考になり、非常に素晴らしい取り組みである。

○「未承認薬・適応外の医薬品を用いた医療の評価・部門審査記録」

- ・非常に多忙な中、薬剤師が『海外（6カ国承認）における承認条件の有無』『エビデンスレベル』について医師に気付きをもたせ、記載漏れがないようにチェックボックス書式に改善し、その評価まで構築されていることは素晴らしい取り組みである。その反面業務として医師・薬剤師がそこまですべき時代になったこともしっかりと受け止める必要がある。

○インシデント事例に基づく対策

- ・バンコマイシン塩酸塩散の処方において、原則として医師はセット処方からオーダーし、薬剤部は調剤後に払出すこととなった。さらに薬剤部では、事例発生後の再発防止策として、バンコマイシン塩酸塩散（バイアル製剤）を水薬棚へ配置し、水薬調剤後の払出しが徹底されるよう改善したことは評価できる。

4. 閉会